

平成25年度第2回慰霊塔のあり方検討協議会

日時：平成25年7月31日（水）
15:00～16:00
場所：県庁3階第4会議室

次 第

1 開 会

2 協議事項

○慰霊塔（碑）に関する委員意見調査について

- ・各委員意見調査にかかる集計結果報告
- ・集計結果報告に関する意見交換

○第3回慰霊塔（碑）のあり方検討協議会について

3 閉 会

（配付資料）

- 資料1 第2回慰霊塔（碑）のあり方検討協議会 座席表
- 資料2 慰霊塔（碑）のあり方検討協議会 委員意見調査票
- 資料3 慰霊塔（碑）のあり方検討協議会 委員意見調査票集計結果
- 資料4 第3回慰霊塔（碑）のあり方検討協議会 慰霊塔（碑）現場確認（案）

資料 1

平成25年度 第2回慰霊塔(碑)のあり方検討協議会
座席表

日時 平成25年7月31日(水)
15時～16時
場所 県庁舎3階 第4会議室

会長
(沖縄県福祉企画統括監)
金城 武

一般財団法人
沖縄県遺族連合会
理事 宮城 篤正

沖縄県立第二高等女学校
白梅同窓会
会長 中山 きく

真栄平自治会
区長 仲吉 勇

糸満市
社会福祉課
課長 稲嶺 盛和

与那原町
住民課
課長 青田 治夫

沖縄県
福祉・援護課長
伊川 秀樹

公益財団法人
沖縄県平和祈念財団
事務局長 上原 兼治

沖縄工業高等学校同窓会
会長 島袋 光尋

一般社団法人うちなーサポート
うーとーとー沖縄
代表理事 仲田 英安

浦添市
福祉総務課
課長 與古田 達郎

沖縄県
平和・男女共同参画課長
(代理:副参事 城間 正彦)

事務局
沖縄県福祉・援護課
援護班長 又吉 剛
主任 与儀 清祐
主任 平川 倫子

平成25年6月

慰霊塔(碑)のあり方検討協議会 委員意見調査票

委員団体名:

氏名:

【問1】平成24年度の調査の結果、管理上問題・課題を抱えている慰霊塔(碑)について、管理上の問題や課題の具体的内容の主なものは、以下のとおりとなっておりますが、このような状況が生じた背景には、どのような要因があると思いますか。(複数回答可)

- ・ 遺族等関係者の減少、高齢化により団体の存続や清掃管理、慰霊祭の継続が困難となっている(或いは、なることが懸念される)。
- ・ 管理者が不明なため、本体・付帯施設の損傷等への対応が困難となっている(或いは、なることが懸念される)。

- 慰霊塔(碑)に関する取り組みに対する協力者が減少した。
- 慰霊塔(碑)への関心が希薄になっている。
- 慰霊塔(碑)に関する情報発信が不足している。
- その他(具体的内容を下枠に記載してください。)

【問2】問1の状況を改善するためには、どのようなことが必要であると思いますか。
(複数回答可)

- 慰霊塔(碑)に関する情報を多くの人を知る。
- 慰霊塔(碑)に多くの人を訪れる
- その他(具体的内容を下枠に記載してください。)

【問3】問2の状況を実現するために必要な取り組みは何と思いますか。
(複数回答可)

- 慰霊塔(碑)の平和学習教材としての活用促進
- インターネット等による慰霊塔(碑)に関する情報の発信
- 慰霊塔(碑)の整備(公園、観光施設等)
- 慰霊祭の開催に関する周知の徹底
- その他(具体的内容を下枠に記載してください。)

【問4】慰霊塔(碑)には、どのような役割があると思いますか。
(複数回答可)

- 関係する戦没者の追悼
- 平和の発信
- 沖縄戦の悲惨な歴史の継承
- その他(具体的内容を下枠に記載してください。)

【問5】問4の役割を慰霊塔(碑)が十分に発揮するためには、どのような取り組みを行う必要があると思いますか。
(複数回答可)

- 慰霊祭の開催
- 慰霊塔(碑)における平和学習の実施
- インターネット等による慰霊塔(碑)に関する情報の発信
- 慰霊塔(碑)の整備(公園、観光施設等)
- その他(具体的内容を下枠に記載してください。)

【問6】問5の取り組みを行うためには、各者、各団体において、どのような役割を担う必要があると考えますか。

・慰霊塔(碑)の管理者及び関係者等

・市町村

・県

・国

・その他

【問7】その他意見等がありましたら、下枠に記載してください。

～ ご協力ありがとうございました ～

※ご回答は同封の返信用封筒をご利用のうえ、7月3日までに
沖縄県福祉・援護課まで回答をお願いします。

連絡先及び回答先は下記のとおりです。

〒900-8570 那覇市泉崎1-2-2 県庁3階
沖縄県 福祉・援護課 援護班 与儀
TEL:098-866-2177
FAX:098-866-2758
e-mail:yogiseyu@pref.okinawa.lg.jp

慰霊塔(碑)のあり方検討協議会 委員意見調査票集計結果【1/8】

問1

平成24年度の調査の結果、管理上問題・課題を抱えている慰霊塔(碑)について、管理上の問題や課題の具体的内容の主なものは、以下のとおりとなっておりますが、このような状況が生じた背景には、どのような要因があると思いますか。(複数回答可)

- ・遺族等関係者の減少、高齢化により団体の存続や清掃管理、慰霊祭の継続が困難となっている(或いは、なることが懸念される。)
- ・管理者が不明なため、本体・付帯施設の損傷等への対応が困難となっている(或いは、なることが懸念される。)

No	団体名	① 協力者減少	② 関心希薄化	③ 情報発信不足	④ その他意見
	回答数	8	4	5	6
1	公益財団法人 沖縄県平和祈念財団	○	○	○	同窓や戦友の熱い思いで建てた慰霊塔・碑も、墓と違って子孫が受け継ぐことはなく、当事者がいなくなった時点で放置されることとなる。これにより無縁墓化するおそれがある。
2	一般財団法人 沖縄県遺族連合会		○		管理者の塔の維持・管理にかかる財源の確保がむつかしくなっている。
3	沖縄県立第二高等女学校 白梅同窓会	○		○	遺族・同窓生の高齢化で慰霊祭参加が年々減少している。 白梅之塔協力が4年前に結成、但し活動が低調。
4	(糸満市)真栄平自治会	○			区民より他市町の人数が多い。
5	沖縄工業高校同窓会	○			-
6	一般社団法人 うーとーとー沖縄				・管理者と設置者の所有権等があいまいなため、今後、管理しようにも手続きや相談が出来ない状況である。 ・また、戦後、慰霊塔や慰霊祭に対する世代間の考え方の変化も要因。
7	浦添市福祉総務課	○		○	遺族の高齢化により、積極的な取り組みができていないときいた。
8	糸満市社会福祉課	○	○		-
9	与那原町住民課	○	○	○	-
10	沖縄県平和・男女共同参画課	○		○	
	事務局まとめ(案)				・建立者の高齢化、後継者の不足等により、慰霊塔の管理にかかる関係者が減少する傾向にある。 ・関係者の減少により、慰霊塔管理にかかる財源の確保が厳しくなっている。 ・慰霊塔や慰霊祭に対する世代間の考え方の変化も要因の一つと考えられる。

慰霊塔(碑)のあり方検討協議会 委員意見調査票集計結果【2/8】

問2

問1の状況を改善するためには、どのようなことが必要であると思いますか。
(複数回答可)

No	団体名	① 情報を多くの 人が知る	② 多くの人が 訪れる	④ その他意見
	回答数	7	4	5
1	公益財団法人 沖縄県平和祈念財団	○	○	・必ずしもすべての慰霊塔・碑を残す必要があるのか、多くの県民等の意見を聴く必要があると考える。 ・このためにも情報を提供し多数が訪れることにより、当該慰霊塔・碑の存続が必要かどうか判断できるようになるのではないかと。
2	一般財団法人 沖縄県遺族連合会	○		
3	沖縄県立第二高等女学校 白梅同窓会	○		・小・中・高・大学生など若者の慰霊祭参加を積極的に呼びかけている。沖尚高校・広島経済大学とは密に交流している。
4	(糸満市)真栄平自治会	○	○	-
5	沖縄工業高校同窓会			・協力者をどう集めるか。
6	一般社団法人 うーとーとー沖縄			・慰霊塔の資料館の検討やイデオロギーや政治ではなく、平和や生きるをテーマにする。 ・根本の問題は、慰霊塔の今後の管理や伝え方の模索である。
7	浦添市福祉総務課	○	○	-
8	糸満市社会福祉課		○	-
9	与那原町住民課	○		・慰霊塔(碑)の関係者が後継者・後援者づくりを行う。
10	沖縄県平和・男女共同参画課	○		
	事務局まとめ(案)			・慰霊塔(碑)の管理を継続するため、後継者・協力者の確保が大きな課題となっている。 ・一部の学徒隊関係団体においては、現役学生に協力を呼びかけて、慰霊祭の開催に積極的に取り組んでいる。 ・すべての慰霊塔(碑)を残すことについて、多くの県民等の意見を聴く必要がある。 ・慰霊塔の資料館の設置について検討する。

慰霊塔(碑)のあり方検討協議会 委員意見調査票集計結果【3/8】

問3

問2の状況を実現するために必要な取り組みは何とと思いますか。
(複数回答可)

No	団体名	① 平和学習教材としての活用	② インターネット等情報発信	③ 公園、観光施設等の整備	④ 慰霊祭開催の周知徹底	⑤ その他意見
	回答数	8	8	6	5	3
1	公益財団法人 沖縄県平和祈念財団	○	○	○	○	・慰霊塔・碑や慰霊祭開催の関係情報の発信とともに、特に慰霊塔・碑及び周辺整備は重要だと考える。
2	一般財団法人 沖縄県遺族連合会	○	○	○		
3	沖縄県立第二高等女学校 白梅同窓会	○	○	○		・塔所在地の国吉・真栄里両区との交流をしている。 ・将来、真栄里霊域の合同慰霊祭も模索している。
4	(糸満市)真栄平自治会		○	○	○	—
5	沖縄工業高校同窓会	○	○	○		—
6	一般社団法人 うーとーとー沖縄					・多言語での平和の発信(QRコード等を慰霊塔に設置)。 ・歴史としての沖縄のこれまでの言論を分け隔てなく伝えることの重要性。
7	浦添市福祉総務課	○	○		○	—
8	糸満市社会福祉課	○		○		—
9	与那原町住民課	○	○		○	—
10	沖縄県平和・男女共同参画課	○	○		○	
	事務局まとめ(案)					・慰霊塔(碑)に関する平和学習、情報発信とともに、周辺施設整備の必要性がある。 ・一部の学徒隊関係団体においては、慰霊塔建立地域との交流にも取り組んでいる。 ・多言語による情報の発信。

慰霊塔(碑)のあり方検討協議会 委員意見調査票集計結果【4/8】

問4

慰霊塔(碑)には、どのような役割があると思いますか。
(複数回答可)

No	団体名	① 戦没者の追悼	② 平和の発信	③ 沖縄戦の継承	④ その他意見
	回答数	9	9	9	3
1	公益財団法人 沖縄県平和祈念財団	○	○	○	・慰霊塔(碑)の基本はもちろん慰霊であり平和発信であるが、仮に物見遊山の観光であっても来訪することによって慰霊・平和について思いを致す契機となることが考えられるので、慰霊塔(碑)の観光が一概に悪いことにはならないと考える。
2	一般財団法人 沖縄県遺族連合会	○	○	○	
3	沖縄県立第二高等女学校 白梅同窓会	○	○	○	・慰霊祭続行の方策は？説明板・案内板の設置を！ ・説明板・案内板設置に補助金の支出を！
4	(糸満市)真栄平自治会	○	○	○	—
5	沖縄工業高校同窓会	○	○	○	—
6	一般社団法人 うーとーとー沖縄				・平和の発信や戦前、戦時中、戦後の沖縄の人々の生活を伝える場所(家族、地域、教育等)
7	浦添市福祉総務課	○	○	○	—
8	糸満市社会福祉課	○	○	○	—
9	与那原町住民課	○	○	○	—
10	沖縄県平和・男女共同参画課	○	○	○	
	事務局まとめ(案)				・慰霊塔(碑)は、戦没者の追悼、平和の発信、沖縄戦の継承など多くの役割がある。 ・多くの人が慰霊塔を来訪することで、慰霊・平和について考える契機となる。 ・戦前、戦中、戦後の沖縄の人々の生活を伝える場所。

慰霊塔(碑)のあり方検討協議会 委員意見調査票集計結果【5/8】

問5

問4の役割を慰霊塔(碑)が十分に発揮するためには、どのような取り組みを行う必要があると思いますか。
(複数回答可)

No	団体名	① 慰霊祭の開催	② 慰霊塔での 平和学習実施	③ インターネット等 情報発信	④ 公園、観光 施設等整備	⑤ その他意見
	回答数	7	8	8	6	4
1	公益財団法人 沖縄県平和祈念財団	○	○	○	○	・特に平和学習の実施と、霊域の尊厳を保ちつつ明るく安全快適な公園、観光施設等とする整備が重要であると考え。このためには、清掃管理と施設のきめ細やかな修繕、必要に応じて大規模な改修等を行う必要がある。また、施設までの市町村道等や案内誘導看板の整備も重要である。
2	一般財団法人 沖縄県遺族連合会		○	○	○	
3	沖縄県立第二高等学校 白梅同窓会	○	○	○	○	・慰霊祭を毎年実施している。但し、今後は困難になると予想。 ・平和学習の取り組み強化(ガイドの会、学校、旅行社との連携)
4	(糸満市)真栄平自治会	○				・敷地内の整備
5	沖縄工業高校同窓会	○	○	○	○	
6	一般社団法人 うーとーとー沖縄					・440基ある慰霊塔関連の資料(データ化)作り。
7	浦添市福祉総務課	○	○	○		
8	糸満市社会福祉課	○	○	○	○	
9	与那原町住民課	○	○	○	○	
10	沖縄県平和・男女共同参画課		○	○		
	事務局まとめ(案)					・慰霊祭の開催、慰霊塔(碑)での平和学習の実施、インターネット等情報発信、公園、観光施設等の整備を行う必要がある。 ・道路、案内板等の関連施設等の整備、観光ガイドの養成、学校、旅行社との連携等に取り組む必要がある。 ・慰霊塔関連のデータ化による資料作成。

慰霊塔(碑)のあり方検討協議会 委員意見調査票集計結果【6/8】

問6-1

問5の取り組みを行うためには、各者、各団体において、どのような役割を担う必要があると考えますか。

No	団体名	① 慰霊塔(碑)管理者及び関係者等	② 市町村	③ 県	④ 国	⑤ その他
1	公益財団法人 沖縄県平和祈念財団	<ul style="list-style-type: none"> ・当事者による慰霊祭の開催、 ・敷地位置・面積の確定、 ・県、市町村及び後継者等への慰霊塔・碑施設や敷地の早急かつ適法な譲渡、 ・清掃管理の継続 	<ul style="list-style-type: none"> ・慰霊塔・碑施設整備、 ・施設までの道路及び誘導標識を含む周辺環境の整備、 ・関係団体への財政的支援、 ・慰霊・平和発信を基本に地域活性化の観点からの活用・支援、 ・各都道府県自治体等との連携・活性化の模索 	<ul style="list-style-type: none"> ・慰霊塔・碑施設整備、 ・施設までの道路及び誘導標識を含む周辺環境の整備、 ・関係団体への財政的支援 	・同左	<ul style="list-style-type: none"> ・平和ガイド等：教育機関や関係団体等との連携による平和学習の実施・掘り起こし
2	一般財団法人 沖縄県遺族連合会	<ul style="list-style-type: none"> ・塔の建立の経緯や意義について、後継者に確実に引継ぎをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・維持、管理に関する財政的支援。 	<ul style="list-style-type: none"> ・同左、及び周辺整備 	・同左	<ul style="list-style-type: none"> ・建立者(団体)不明の塔の整理
3	沖縄県立第二高等学校 白梅同窓会	<ul style="list-style-type: none"> ・慰霊祭実施の情報発信(案内板、新聞広告、無料バスなど。) ・協力会の活用、平和ガイドの会・地域との交流。 	-	-	-	-
4	糸満市 真栄平自治会	<ul style="list-style-type: none"> ・部落と遺族 	-	-	-	<ul style="list-style-type: none"> ・建立者(団体)不明の塔の整理
5	沖縄工業高校同窓会	-	-	-	-	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアではあるが、どう協力者を集めるか。

慰霊塔(碑)のあり方検討協議会 委員意見調査票集計結果【7/8】

問6-2

問5の取り組みを行うためには、各者、各団体において、どのような役割を担う必要があると考えますか。

No	団体名	① 慰霊塔(碑)管理者及び関係者等	② 市町村	③ 県	④ 国	⑤ その他
6	一般社団法人 うーとーとー沖縄	・生存者、遺族の遺品、証言の提供。 ・寄付行為。	・土地の所有権を明確化するための協力。	・市町村の協力を得ながら、慰霊塔の関連資料をまとめ、沖縄県中部地域等に慰霊塔のための資料館等の設置と慰問できる環境整備。	・琉球政府時代に沖縄県民により、多くの慰霊塔が建立されていることから、戦中時の日本国としての想いを、戦没者に伝えるために慰霊塔のための資料館の設置の検討。	・学校教育に今の平和や沖縄の歴史を伝える教材としての慰霊塔のあり方を検討する。
7	浦添市福祉総務課	・管理者による慰霊祭の開催と情報発信、平和学習など	・管理者との連携、情報の発信	・関係者との連携、情報の発信	・関係者との連携、情報の発信	—
8	糸満市社会福祉課	・後継者の掘り起こし	・慰霊塔の所在の把握	・慰霊塔の整理、統合、管理	・慰霊塔の整理、統合、管理	—
9	与那原町住民課	—	・慰霊塔(碑)の管理者及び関係者等とタイアップして情報発信し周知を図る。	—	—	—
10	沖縄県平和・男女共同参画課	—	—	—	—	—
	事務局まとめ(案)	①慰霊祭の開催 ②後継者の確保、育成等 ③平和ガイド、地域との交流等 ④生存者の証言、遺品の確保	①情報発信 ②周辺施設整備(道路、関連施設、案内板等) ③財政的支援 ④建立慰霊塔(碑)の把握、土地の所有権の明確化等	①周辺施設整備(道路、関連施設、案内板等) ②財政的支援 ③慰霊塔の整理、統合、管理等 ④慰霊塔のための資料館等設置	①周辺施設整備(道路、関連施設、案内板等) ②財政的支援 ③慰霊塔の整理、統合、管理等 ④慰霊塔にかかる資料館の設置検討	①建立者不明の塔の整理 ②協力者の確保 ③平和学習の実施にかかる平和ガイド、教育機関との連携 ④平和学習での慰霊塔のあり方の検討

慰霊塔(碑)のあり方検討協議会 委員意見調査票集計結果【8/8】

問7

その他意見等がありましたら記載してください。

No	団体名	その他意見等
1	公益財団法人 沖縄県平和祈念財団	<ul style="list-style-type: none"> ・戦争を遂行した国としては、その結果としての慰霊塔・碑について、整備等に尽力していただきたい。 ・県は、慰霊・平和・観光等の関係部局を横断する業務推進に取り組んでいただきたい。 ・慰霊・平和・観光は現実として区分できないものがあり、慰霊があるからそれを背景に平和を声高に訴えることができると思う。 ・また、観光は県の大きな産業振興の柱である。観光にとって、慰霊・戦争・平和はマイナスの視点で見るとはならず、青い海や空・山などの自然、食文化、伝統文化、アメリカ文化など、それらを含めて現在の沖縄の姿が観光を作り上げているし、前向きに活用を図る必要があると考える。
2	一般財団法人 沖縄県遺族連合会	・特にありません。
3	沖縄県立第二高等女学校 白梅同窓会	—
4	糸満市 真栄平自治会	<ul style="list-style-type: none"> ・個人墓及び所有者が不明な慰霊塔(碑)の取り扱いについて不安がある。 ・慰霊塔(碑)の清掃費の確保が厳しくなっている。
5	沖縄工業高校同窓会	・自分の所しか考えてなかったが、全体を見ると本当に出来る所、出来ない所、どうしていいか、まだ！
6	一般社団法人 うーとーとー沖縄	<ul style="list-style-type: none"> ・慰霊塔の資料や証言等、戦争当事者がご存命のうちに残せるもの、伝えること、また、戦没者に対する思いが今日も沖縄にはあることの重要性を戦前、戦中、戦後(琉球政府、沖縄県)の変遷にそって、多くの意見を残していく。 ・保革関係なく、また一般人からもエッセイ等を募集して、寸胴型の想いの継承を行う必要がある。 ・例えば、戦後70年目の節目に、昭和一桁、昭和10年代、昭和20年代・・・平成20年代までに”私の沖縄県と”と題してエッセイを募集して、選考は行わず、そのまま、思いとして資料化して残す方法等。
7	浦添市福祉総務課	—
8	糸満市社会福祉課	・設置者不明の碑や設置者の高齢化等により、維持管理が困難になってきた慰霊塔については、県又は国で管理を行ってほしい。
9	与那原町住民課	—
10	沖縄県平和・男女共同参画課	—
	事務局まとめ(案)	<ul style="list-style-type: none"> ・国の責任を明確化したうえで、管理が困難になった慰霊塔(碑)について、国又は県で管理を行ってほしい。 ・県内部における、慰霊、平和、観光等の部局横断的な取り組みの推進により、慰霊・戦争・平和を前向きに観光に活用する必要がある。 ・建立者が不明な慰霊塔(碑)の今後のあり方についても検討を進める必要がある。 ・戦争経験者がご存命うちに、慰霊塔の資料や証言などを残す。

第3回慰霊塔(碑)のあり方検討協議会 慰霊塔(碑)現場確認(案)

- 1 日 時:平成25年9月下旬頃
- 2 場 所:県庁東側駐車場(旧議会棟跡)午後1時30分集合、午後5時頃解散予定
- 3 移 動:県公用車(県マイクロバス)

	慰霊塔(碑)	管理者	市町村	場所	備考
1	南北之塔	真栄平自治会	糸満市	真栄平	南北の塔周辺に個人及び団体の慰霊塔(碑)が複数建立されており、建立者に撤去、整理を呼びかけている。
2	白梅之塔	沖縄県立第二高等女学校 白梅同窓会	糸満市	国吉	学徒隊の慰霊塔(碑)として、慰霊祭の開催、現役学生への参加呼びかけ、語り部等に取り組んでいる。
3	沖縄師範健児之塔	1 清掃管理 ・沖縄県平和祈念財団 2 慰霊祭開催 ・一般社団法人うーとーとおきなわ	糸満市	摩文仁	慰霊塔関係者の高齢化が進んでおり、一時は慰霊祭開催を中断したが、一般社団法人うーとーとおきなわの取り組みにより慰霊祭が復活した。
4	沖縄工業健児之塔	沖縄工業高等学校同窓会	糸満市	平和祈念公園内	学徒隊の慰霊塔(碑)として、平和祈念公園内に建立されている。同窓会の慰霊祭等において、現役高校生も参加させている。
5					